

3. Web サービスを利用したデータのプロット方法

(1) テンプレートファイルのダウンロード

講座用のサイト () から、テンプレートファイルをダウンロードします。テンプレートファイルは圧縮形式 (zip 形式) なので、ダブルクリックして解凍してください。

(2) js ファイルの設置

地図に表示する線の情報は、gsd データから変換した js データに記述されています。まずは、変換した js データ (今回は「plotdata.js」とする。) を、テンプレートと同じフォルダへ置きます。次に、テンプレートの 15 行目を次のように編集します。

```
<!-- 表示するログのファイル名を指定する -->  
<script type="text/javascript" src="plotdata.js"></script>
```

赤字の部分に作成した js データのファイル名を入れてください。また、データの種類の HTML を開いただけでわかるように、5 行目のタイトルも編集しておきましょう。

(3) 地図上への点の設置

地図に点を設置するには、設置場所の緯度、経度が必要です。テンプレートの地図は、地図上の任意の点をクリックすると、下部に緯度、経度が表示されるようになっています。これを利用して、点を置きたい場所の緯度、経度をメモしてください。



次に、テンプレートファイルの 31~34 行目の間を書き変えます。例えば、「情報工房」と表示する点を、緯度 35.36747, 136.64110 に置かならば、次のように記述します。

```
// 表示されるランドマーク  
var plotMarkers = [  
//Add Arrays By Program  
[ '情報工房', '', 35.36747, 136.64110 ],  
];
```

表示する点が一つだけの場合には行末のカンマは要りませんが、複数の点を置く場合には、カンマの付け忘れに注意してください。2 つ目の要素に写真ファイルを入れると絵も表示することができます。各自で工夫して下さい。